

「栄養の日・栄養週間 2025」実施要領（案）

1. 趣 旨 （公社）日本栄養士会は 2016 年に、全ての人びとの健康の保持・増進の実現に向けて、「栄養の日（8 月 4 日）」、「栄養週間（8 月 1 日～8 月 7 日）」を制定しました。

日本栄養士会は、2021 年 12 月に開催された「東京栄養サミット 2021」において、SDGs の達成に向けて世界の栄養不良を撲滅することを目指し、二つのコミットメントを宣言しました。一つは、管理栄養士・栄養士のいない国への管理栄養士・栄養士等の教育養成、さらに栄養士制度の創設や持続可能な栄養改善基盤の構築を支援すること、もう一つは、管理栄養士・栄養士のいる国において、人材のスキルアップの支援などを通じて栄養改善を促進することです。このコミットメントの実現に向け、長寿国日本を支えた栄養士 100 年の歴史と得られた知見「ジャパン・ニュートリション」をもって、国内外の栄養課題の解決に向けて、日々取り組んでいます。

日本においては、少子高齢社会の一層の進展が予測される中、活力ある「人生 100 年時代」を迎え、健康寿命の更なる延伸が課題となっています。

この課題解決を図る上で、栄養・食生活は最も重要な要素の一つであり、国においては、現在、注力して取り組むべき主な栄養課題として、「食塩（ナトリウム）の過剰摂取」、「若年女性のやせ」、及び「経済格差に伴う栄養格差」を掲げ、誰一人取り残さない栄養改善の取組を推進しています。

このようなことを背景として、「栄養の日・栄養週間 2025」では、全国のあらゆる場所に所属する管理栄養士・栄養士が各地域において、栄養課題の解決を使命として、多様な活動の場で国民運動を展開し、更なる「ジャパン・ニュートリション」の拡大とともに、その成果を国内外に情報発信します。

2. 主 催 公益社団法人 日本栄養士会、47 都道府県栄養士会

3. 期 間 2025 年 8 月 1 日（火）～7 日（月）を中心とした 6 月から 8 月
（「栄養の日」：8 月 4 日、「栄養週間」：8 月 1 日～7 日）

4. テーマ 「みんなで結ぶ栄養の日」（仮）

5. 後 援 厚生労働省（予定）

6. 概 要

■栄養ワンダーVer. 2

ワンダーは「驚くべき・驚異の・すばらしい」を意味しています。つまり、「栄養ワンダー」は、「栄養の力」で全ての人びとの健康の保持・増進の実現に向けて、栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の認知度および、その職能への理解度向上を目指しているものです。

2016 年の「栄養の日・栄養週間」制定からこれまで、管理栄養士・栄養士の勤務先、活動先で、それぞれが対峙する対象者あるいは地域の住民を対象に日常業務の中で、「栄養の日・栄養週間」に取り組んできました。2025 年度からは、この取り組みの成果を活かし、管理栄養士・栄養士一人一人が、「栄養の力」について改めて考え、自らができる実現可能性のある取り組みを企画し、実践にチャレンジする「栄養ワンダーVer. 2」として展開します。

■栄養の力で結（ゆい）プロジェクト（新規）

「栄養ワンダーVer2」に加え、より多くの国民との接点を持ち、「栄養の日・栄養週間」の活動を通して、「栄養の力」で人びとを健康に、幸せにするために、「栄養の力で結（ゆい）プロジェクト」を展開します。

日本には「結び」に関する文化が多くあり、「結ぶ」ことにより、“人と人を結びつける”という意味が込められており、“願いを込めて結ぶことは、人の思いまでをも留まらせることができる”と考えられています。そこで、「栄養の力で結（ゆい）プロジェクト」では「栄養の力」で人びとを健康に、幸せにしたいという想いを、管理栄養士・栄養士が勤務先、活動先で、それぞれが対峙する対象者あるいは地域の住民と「結ぶ」ことを目的とします。

本プロジェクトでは、「結び」の意図を忍ばせた画像と川柳を募集する「栄養の力で結（ゆい）コンテスト」と、この結果を公表するとともに、「栄養の力」について改めて考える機会として「市民公開講座」を開催します。

7. 内 容

■栄養ワンダーVer2

全国のあらゆる場所に所属する管理栄養士・栄養士が各地域において、栄養課題の解決を使命として、管理栄養士・栄養士一人一人が、「栄養の力」について改めて考え、自らができる実現可能性のある取り組みを企画し、実践にチャレンジします。

【取り組みへの支援】

1) これまでの栄養ワンダー・ブックを活かし、各テーマに応じた講演や栄養相談等を管理栄養士・栄養士が企画・実践することができるよう、活用しやすいパワーポイント形式の資料を作成します。

資料は、会員のみがダウンロードでき、ホームページで公開します。

2) 管理栄養士・栄養士が取り組みを企画・実践するにあたり、活動のための準備や活動内容のポイント等に関するレクチャ動画の配信を検討します。（予定）

3) 「栄養の日・栄養週間」を普及啓発するためのPOP（広報資材）を全会員へ提供することも検討します。（予定）

※従来実施していた協賛商品のサンプリングはありません。

【開催場所】

全国の管理栄養士・栄養士の活動先及び、47都道府県栄養士会が主催するイベント等

■栄養の力で結（ゆい）プロジェクト（新規）

「栄養の力」で人びとを健康に、幸せにしたいという想いを、管理栄養士・栄養士が勤務先、活動先で、それぞれが対峙する対象者あるいは地域の住民と「結ぶ」ことを目的として、次の事業を実施します。

(1) 「栄養の力で結（ゆい）コンテスト」

(2) 市民公開講座

(1) 「栄養の力で結（ゆい）コンテスト」

【趣旨】

管理栄養士・栄養士が国民との接点を持ち、栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の認知度および、その職能への理解度向上を図ることを目的に、管理栄養士・栄養士との「結び」（つながり、感謝の気持ち、食に関する楽しかったこと、栄養に関するエピソード等）を込めた画像および川柳を募集します。

【応募テーマ】

「見つけて！教えて！栄養の力」（仮）

【応募方法】

<画像部門>

- 1) 「日本栄養士会公式」のInstagramアカウントをフォローする
- 2) 画像は、人、モノ（食品・食事・用具等）、風景等とし、著作権に配慮する
- 3) 「撮影場所」と「撮影日」および「タイトル」を記載し、ハッシュタグ「#栄養の日」をつけて投稿する
「タイトル」は画像に込められた「人とのつながり、感謝の気持ち、食に関する楽しかったこと、栄養に関するエピソード等」を表現する

<川柳部門>

- 1) ホームページから応募フォームをダウンロードし、郵送、FAX、メールでの応募する
- 2) 川柳は上五・中七・下五の三句体で構成されている定型詩であり、五・七・五の順に詠まれるのが一般的な形ですが、自由に形を変えてもよいとする。

【賞品（図書券）】

- ・最優秀賞（各1点）1万円分、優秀賞（各2点）5千円分
- ・その他抽選で50名にラッキー賞^{*}をプレゼント
※ラッキー賞は、賛助会員より商品进行募る。（予定）
- ・最優秀、優秀賞は、「日本栄養士会ホームページ：<https://www.dietitian.or.jp/84/>」（管理栄養士・栄養士向け）と「NU+（ニュータス）：<https://www.nutas.jp/84/>」（国民向け）に掲載するほか、日本栄養士会雑誌でも紹介する。

(2) 市民公開講座

【趣旨】

45年間、ヤクルト本社様と取り組んできた「健康づくり提唱のつどい」として、管理栄養士・栄養士と国民が一緒に学ぶ機会として、集合形式で実施をする。

【内容】

- 1) 「栄養の力で結（ゆい）コンテスト」結果発表・表彰式
- 2) 特別講演・シンポジウム「栄養の力について考える」（仮）

【開催場所】

都内会場（予定）

8. その他

■「栄養の日・栄養週間」ロゴの使用

(1) 会員

ホームページの会員専用ページより、ダウンロードをして利用ができます。

(2) 賛助会員

本会の賛助会員については、利用目的、利用期間等を事前に申請いただくことで、ロゴの利用ができます。